



博物館友の会会報

通巻 134 号

安曇野市豊科郷土博物館友の会

令和7年7月6日発行



「友の会だからこそできることがある」

友の会会長 百瀬 新治

豊科郷土博物館友の会の戦時生活部では、戦後80年を経て戦争を体験した方々が少なくなり当時の資料なども消え去ろうとしている状況を危機的にとらえ、戦時下での生活について広く市民のみなさんから情報提供を呼びかけています。ウクライナやガザでの戦争のもとで生きる市民の悲惨な姿が連日報道される現在、戦時生活部としては戦いの中でどのような生活を送っていたかをできるだけ数多く具体的な内容で明らかにし、それを展覧会で多くの戦争を知らない人たちに知っていただくことを計画しました。

安曇野市内の大多数の家庭にアンケート用紙を配布し、直接・間接の戦時生活体験をどんな些細な事でも情報を提供いただき、写真1枚などわずかで価値の無さそうな資料でも持ち寄っていただくことをお願いしました。80年という長い時間の経過で人も物も残っているのか心配をしていましたが、お蔭さまで現在約70件の協力申し出がありました。予想通り、様々な内容や種類の体験と資料が集まりつつありますが、そのどれもが戦争に関係したその人だけの貴重なものであり、戦争のことを周りの方々に伝え残したいという熱い願いをもって協力を申し出ておられています。

個別にお話をお聞きしますと、本当に運命的

なことで生死を分けたような劇的な体験を持つ方、幸運にも比較的恵まれた生活を送れた方、戦中のことが今でも大きく影響を受けている方、等々聞いている私たちに緊張や感動が強く伝わってきます。あの戦時中に、直接の戦場ばかりでなく安曇野を含めたあらゆる場で様々なできごとがあったことが、今回の市民アンケートで浮き彫りになっています。寄せられた情報のどれもが重要でまたとない貴重な体験と資料であり、今年11月に予定されている展覧会には、きちんと整理した内容をわかりやく発信できればと強く思います。

本年は、戦後80年を記念したイベントが安曇野市でいくつも行われ、夏には郷土博物館でも戦争に関する企画展が催されます。その中で、私たちは友の会らしい、あるいは友の会でなければできない取り組みにしたいと考えています。せっかくの市民アンケートですので、どの体験や資料も等しく大事に扱い提供に協力いただいた方の思いを観覧する市民の人たちに伝える展示にしたいと願っています。友の会（戦時生活部）は少人数の民間団体ですから、できることに限りがあることは承知しています。ただし、今現在でなければできないことに全力を傾け、市民である会員が力を合わせていかにも友の会らしく活動を行っていくことはできると確信しています。



【提供された資料の金鷄勲章】

第1回役員会・総会



4月11日（金）、第1回役員会・総会が無事に開催できたことに感謝いたします。令和6年度事業報告・会計報告及び監査報告がなされました。その後、令和7年度事業計画・予算案が了承されました。



役員紹介

今年度の役員の皆様です。
大変、お世話になりますが、よろしくお願いいたします。

会 長	百瀬新治	会 計	望月喜和子
副会長	藤原恵正	会 計	窪田尚幸・廣瀬洋子
副会長	加蔵友美	会計監査	佐々木泉・竹内明子

各部正副部長

部 名	部 長	副部長	副部長
書道部	隼田和子	牟礼梯子	
絵手紙部	高橋久子	望月喜和子	
植物画部	降旗 晃	川上公子	
山草部	古幡正夫	村田資子	澤柳まき子
写真部	藤松義躬	矢口高志	
戦時生活部	臼井泰彦	藤原恵正	
自然と暮らしの文化部	竹内明子	—	
植物調査部	新倉美智子	—	
郷土史部	古川幸男	—	
タカラさがし部	千村裕一	藤松慎一郎	水木勝俊



友の会活動

◆「第41回 山草・サクラソウ展」令和7年5月3日（土）～5月5日（月）



山草部の皆様が丹精込めて育てた山草・サクラソウ110点（出品者6名）が見事に可憐な花々を咲かせており、大勢の来館者の目を楽しませてくれました。残念ながら部員の高齢化のため山草部41年の歴史に幕を下ろすことになりました。長い間、博物館をお支え下さり誠にありがとうございました。

◆「第20回ボタニカルアート展・第39回写真展」令和7年5月31日（土）～6月22日（日）

丹精込めて描かれた鮮やかで繊細なボタニカルアート37点が展示され、本物以上にリアルで緻密な作品に大いに魅了されました。

安曇野や県内の風景や季節を捉えた写真18点が出品され、自然や文化財の美しさ、命の輝きの素晴らしさに、見応えたっぷりでした。



◆6/15（日）友の会1回目の美化活動ありがとうございました！



2回目は、7月26日（土）7:00～8:00です。 <少雨決行>

持ち物：飲み物等暑さ対策、草取り・剪定用具 *暑さ対策のため、時間を早めています。

*1回目は、25名の参加がありました。とてもきれいになりました。

2回目も館外の草取りや垣根の剪定を予定しています。友の会の大切な博物館のサポーター活動の一つです。ご都合のつく方は、是非ご参加ください。中止の場合は各部長に連絡します。

◆今後の友の会展覧会予定

展 覧 会 名	会 期
第22回友の会絵手紙展	11月8日（土）～11月30日（日）
第11回友の会戦時生活展	11月8日（土）～11月30日（日）
第71回友の会新春書芸展	令和8年1月10日（土）～2月1日（日）

「戦争を企画展で取り上げる」

博物館長 原 明芳

8月2日(土)から市制施行20周年、戦後80年平和事業の企画展「日中戦争、太平洋戦争下の安曇野の人々」を開催します。担当するのは私です。今から3年前に「安曇野の戦争・・・郷土から戦場へ・・・」の企画展も実施しました。

なぜ、専門でもない戦争の企画に携わるようになったか振り返ってみると・・・。

戦争遺跡に興味を持ったのは、陸軍松本飛行場などの調査がきっかけで戦争を勉強しました。そして行き着いたのが、310万人もの犠牲者を出した戦争に、考古学から何かアプローチができないかということでした。私が専門に研究している奈良・平安時代の人口は500～600万人、そのほぼ半分の人々が先の戦争で亡くなったのです。日本史上、未曾有のできごとなのです。ところがどうでしょう。確かに悲しくつらいできごとに間違いはありませんが、身近に痕跡(遺跡)もないし、記録もほとんどありません。こんなことでいいのだろうかと思い、積極的に戦争、戦争遺跡に取り組むことになりました。

それと安曇野にやってきて、もうすぐ10年。戦争に関係した人物や資料、遺跡、できごとに出会ったことも大きなきっかけになりました。穂高・有明空襲のあった1945年5月19日の米軍の空襲記録、当館に寄贈されたノモンハン航空戦で亡くなった佐々木武さんの資料、ニューギニアから還ってきた本田卓郎さんの日章旗。またいろいろな人物に出会うことができました。女子挺身隊で17歳の誕生日から11日目亡くなった中島良子さん、特攻で亡くなった浅川又之さんとやさしい家族の皆さん。それらを多くの人々にぜひ知ってもらおうと、紀要にレポートを発表、ブックレットをまとめ、そして企画展を実施してきました。

今年は戦後80年、県内外の博物館からたくさん送られてくるポスターやチラシのなかに、戦争に関係する企画展はほとんど目にすることはありません。どうしてなのでしょう。

安曇野市制20周年記念 戦後80年平和事業

令和7年8月2日(土)～10月5日(日)

企画展

日中戦争、太平洋戦争下の安曇野の人々

二人の特攻兵と、一人の女子挺身隊員を追って・・・



上原良司さん 中島良子さん 浅川又之さん

【関連企画】

◆講座「安曇野の戦争遺跡を考える」 要入館料 ・定員 30名(先着順) ・申込 8/20(水)より電話にて受付

・日時 8月30日(土)13:30～15:00 ・会場 豊科郷土博物館 2階学習室

・講師: 豊科郷土博物館長 原 明芳

◆現地見学会「豊科の戦争遺跡を歩く」

・日時 10月4日(土)9:00～12:00 ・場所 豊科郷土博物館集合(車は博物館西側の市職員駐車場に)

・参加費 100円 ・定員 20名(先着順) ・申込 9月20日(水)より電話にて受付

・案内人: 豊科郷土博物館長 原 明芳 *博物館ブックレット7「安曇野の戦争と、戦争遺跡」をお持ちの方はご持参ください。

◆ギャラリートーク ・要入館料 ・申込不要 ・時間:10:00～11:00 と 13:30～14:30

① 8月23日(土) ② 9月20日(土) 一日2回

*友の会会報は、当館ホームページにカラーで掲載しています。是非ご覧下さい。